



なんよBBQ(バーベキュー)
ソース甲子園 最優秀賞
大洲農業高等学校3年生チーム

「大農BBQ」

(前列左から)

井上 捺志^{なつし}さん 兵頭 真輝^{まきと}人さん 東 純輝^{あつき}さん

(後列左から)

上杉 莉穂^{りほ}さん 前川 愛菜^{あいな}さん 片上 里珠^{りず}さん
上田 愛咲美^{あさみ}さん 玉木 綺華^{あやか}さん

11月6日(日)に松野町で開催された「なんよBBQ(バーベキュー)ソース甲子園」で大洲農業高等学校3年生のチーム「大農BBQ」が見事最優秀賞を受賞しました。この大会は南予地域9市町をエリアとした「えひめ南予きずな博」の一環として実施され、地元の高校生が地域の食材を活用しながらBBQソースを開発するというもので、大洲農業高等学校からは3年生8人とプレゼンテーションのために1年生3人が参加しました。

大農BBQは地元特産の「エコラプトマト」をベースとしたソース開発に着手。開催地である松野町

特産の桃を使ってフルーティーさをプラスし、さらにカレーにヒントを得てチョコレートを加えることでコクを出すことにも成功しました。また、調味料としては同校が地域活性化を目的に行っている蕎麦打ちをヒントに蕎麦つゆ用の「かえし」を使うなど、特産品を生かしたまるやかなソースに仕上げました。

このソースは宇和島市内の飲食店で使われることが決まっているとのことで、チームのみなさんは「何度も試行錯誤を繰り返しながら開発した。いずれ学校の名産品となって欲しい」と笑顔で語ってくれました。

私たちにもできる

SDGs



SDGs最後の目標は「パートナーシップで目標を達成しよう」です。

今まで挙げてきた16の目標を達成するためには、国や自治体それぞれ単独の活動では到底達成できません。

グローバル化と呼ばれる文化、経済、政治などの社会活動が国境を越え世界的な規模での結びつきが強くなっている現在では、国々が手を取り合っ

てSDGsの目標を含むさまざまな問題に取り組んでいくことが必要不可欠です。また、国内に目を向けても民間のサービスや手法、資金などを活用して公共サービスや公共事業を推進する「官民協働」や「産官学連携」という言葉が一般的になってきています。SDGsそれぞれの目標を達成し、持続可能な社会を実現するため、世界中のあらゆる国や企業、個人が同じ価値観を共有しながら進んで行けば、きっと素晴らしい未来を次の世代に残していくことができるでしょう。



文化財

菅田金比羅神社の杉
大洲市指定天然記念物
村島神社所有



菅田地区にある村島神社(金比羅神社)には社叢(神社の森)が形成され、社殿北側にある2本のスギが文化財に指定されています。いずれも樹高約26mで、幹周約5m、推定樹齢は約300年を数えます。

西側のスギ(写真右)は、かつては巨枝が主幹と平行にのびていて、この巨枝と主幹からのびてきた枝とが一体になることで奇観をみせていました。現在、この巨枝は倒れてしまい、その痕跡を留めるのみですが、樹勢に問題なく生長を続けています。東側のスギ(写真左)は、境内の建物裏の斜面上にあり、力強い根張りが見どころの一つです。

いずれも市内のスギとしては最大級であることから、保護されるべき重要なものといえます。

(昭和33年11月3日指定)

叙勲・表彰 おめでとうございます

秋の叙勲

旭日双光章



元大洲市議会議員
福積章のりおさん
(大洲市徳森)

秋の叙勲

瑞宝双光章



元公立小学校長
上田敏さとしさん
(大洲市市木)

第39回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



元県大洲地区広域消防事務組合
消防監
芝田隆たかしさん
(大洲市新谷)

知事との意見交換会が開催されました

「知事とみんなの愛顔えがおでトーク」が10月19日(水)、八幡浜港フェリーターミナルで開催され、会場には八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町の5市町のさまざまな職種の9人が中村時広知事と意見交換を行いました。

大洲市からは大洲市認定農業者連絡協議会の藤田秀美ひでみさん(写真左)と大洲市PTA連合会の谷井真由美まゆみさん(写真右)が出席し、市内農業の現況や原油高騰による肥料・ハウス資材などの高騰への対策、小学生によるSNSの利用についてそれぞれ提言しました。



食品の寄贈ありがとうございました

大洲ライオンズクラブ(会長：矢野啓文ひろふみさん)からレトルト食品の寄贈を頂き、10月20日(木)に感謝状贈呈式を行いました。これは大洲ライオンズクラブが社会的問題となっているフードロス(食品廃棄)の削減の取組や地域貢献の一環として、市内事業者が納品条件に合わなかったとして余ってしまったレトルト食品を買い取り、そのうち1,120食分を市に寄贈したいとの申し出を頂いたものです。

なお、寄贈されたレトルト食品を市内社会福祉施設で活用する予定です。





肱川あらし初観測

10月20日(木)、長浜地区の季節の風物詩である「肱川あらし」が今季初観測されました。肱川あらしは大洲盆地に溜まった霧が肱川沿いを伊予灘に向けて流れ出る珍しい自然現象で、肱川あらし実行委員会の審議により条件を満たしたとして昨年より8日早い発生となりました。また、「肱川あらし発生初日当てクイズ」には全国から341通の応募があり、15人が予想的中となりました。



肱川をもっときれいに

河川の浄化と環境保全を目的として「肱川流域一斉清掃」が10月22日(土)に開催されました。

この清掃活動は「肱川をもっときれいに」を合言葉に、国・県・流域の5市町で構成された肱川流域清流保全推進協議会が平成16年から取り組んでいるもので、大洲市では大洲、長浜、肱川、河辺の4つの会場に分かれ約170人が参加し、約3トンのごみを集めました。



防災について学ぼう

10月26日(水)、新谷小学校の4年生34人が大洲市防災センターを訪れ、防災について学びました。

子供たちは国土交通省職員からの説明や施設見学の後、2班に分かれて簡易テントの組み立てなどを体験。その後は排水車（ポンプ車）見学やかまどベンチを使って実際に火おこしを行いました。市では防災センターの施設を活用した小中学生への防災教育を推進しています。



戦没者・消防及び公務殉職者合同追悼式

令和4年度戦没者・消防及び公務殉職者合同追悼式を10月26日(水)に大洲市総合福祉センターで執り行いました。全員で黙とうを捧げた後、二宮市長が「戦後の荒廃から豊かな国へ発展したその陰には戦没者と殉職者の犠牲があることを忘れずに胸に刻み、平和と繁栄を目指して力を尽くすことを誓います」と式辞を述べ、遺族や関係者約80人が参列し、各団体の代表者が献花を行いました。

花と笑顔があふれる公園に

大洲まつりを前に、肱川緑地公園などの花壇整備が10月27日(木)に行なわれました。花壇整備に参加したのは大洲市公園等施設管理推進協議会のみなさんなど約40人で、会では市民や観光客に心の潤いと安らぎの場として、親しみのある公園づくりを進めるため、市内中心地にある公園の花壇づくりを行っています。この日はパンジーやビオラの苗約1,800本が植えられました。



150歳おめでとう

明治5年に学制が実施されてから150年が経ち、市内では大洲小学校、喜多小学校、新谷小学校、長浜小学校の4校が創立150周年を迎え、それぞれ記念式典を実施しました。そのうち長浜小学校では11月2日(水)に全校児童による式典の後、児童や教員・関係者のみなさんで「150」の人文字を作り記念撮影をしました。撮影後は全員で記念の風船を飛ばし、児童からは大きな歓声が上がっていました。



ドリームチームがやってきた

プロ野球の往年の名スター達による「ドリームベースボール」が11月6日(日)に八幡浜・大洲地区運動公園野球場で開催されました。この事業は平成30年7月豪雨災害からの復旧によって天然芝の球場に生まれ変わった同球場の記念行事として行われ、野球教室には大洲、八幡浜から171人の子供たちが参加。また、午後から地域の選抜選手との対戦が行われ、熱戦を繰り広げていました。



ステキな絵本のプレゼント

国際ソプロチミスト大洲による保育所図書贈呈式が11月11日(金)に菅田こども園で行われました。

この事業は心豊かな子の成長を願い、幼少期より本に慣れ親しんでもらうことを目的とし、今回で26回目を数えます。この日、菅田こども園にプレゼントされた絵本は23冊で、児童たちは大きな声でお礼をした後、新しい絵本に目を輝かせながら仲良く手に取っていました。





市民のつどいが開催されました

11月13日(日)、令和4年度福祉と健康づくり「市民のつどい（大洲市社会福祉大会）」が大洲市総合福祉センターで開催され、地域福祉や福祉団体の発展などに貢献のあった89人4団体のみなさんが表彰されました。午後からは弁護士の菊地幸夫^{ゆきお}さんによる「仕事で出会った心身の健康、福祉の問題」と題した記念講演が開かれ、多くの方が聴講に訪れていました。なお、会場には福祉団体などによるバザーや展示会なども設けられ、多くの人で賑わいました。



学校に投票所を開設

若い世代の有権者に選挙をもっと身近に感じてもらうと、大洲農業高等学校で11月16日(水)に愛媛県知事選挙の期日前投票所を開設しました。

投票所開設時間の15時30分には選挙権を持つ生徒たちが会場に足を運び、少し緊張した面持ちで一票を投じていました。投票を終えた生徒は「学校の生徒会選挙と同じような感じで投票ができ、とても簡単だった」と感想を話していました。



秋祭りで街が賑わう

秋祭りのシーズンを迎え、11月2日(水)、3日(木)に大洲まつりが開催されました。2日に行われた3年振りのお成り（大名行列）には地元の小中学生を含む約230人が参加し、市内8キロを練り歩きました。

また、3日はおまつり村とおおず浪漫祭が開かれ、おまつり村は肱川緑地公園、浪漫祭では肱南地区の昔ながらの町並みを会場に秋晴れの中、家族連れなど多くの人で賑わいました。また、おまつり村で使用したパットゴルフコース（7コース）は大洲青年会議所から児童館へ寄附されました。



【鮭のハクサイ巻き】



材料（4人分）

鮭	100g
塩コショウ	少々
片栗粉	少々
ショウガの千切り	少々
ハクサイ	4枚
生クリーム	70cc
鶏ガラだし	A 50cc
酒	
スプラウトなど(飾り)	適量

作り方

- ① ハクサイの芯の厚い部分は削いで、切りこみを入れる。
- ② ①を塩茹でして、冷ましておく。
- ③ 鮭は巻きやすい大きさに切って塩コショウをし、片栗粉を薄くまぶす。
- ④ 鮭とショウガの千切りをハクサイで巻く。
- ⑤ ④を鍋に並べ、Aを入れて蓋をして火にかける。沸騰したところに生クリームを加え、とろっとするまで煮詰める。
- ⑥ 器に盛り、スプラウトなどを飾る。

ハクサイの栄養

ハクサイはシャキシャキとしたさわやかな食感で、どんな野菜とも合わせやすい冬の万能野菜です。

ビタミンCや食物繊維、ミネラルをバランスよく含み、ビタミンCの抗酸化作用により、風邪予防や免疫力アップ、肌の調子を整える効果などが期待できます。食物繊維は腸内環境を整える働きがあるので、便秘の改善にも効果的です。



【レシピ提供：健康増進課】

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.70 大洲高等学校肱川分校

みなさんこんにちは。大洲高等学校肱川分校3年の鈴木あみです。

11月に「なんよBBQフェスティバル in 松野」で行われた「なんよBBQソース甲子園」に参加しました。これは、南予の高校生が地元食材を使ったオリジナルのBBQソースを作りおいしさを競います。肱川分校では、校舎裏で収穫した梅を使ったジャムをベースにBBQソースを作りました。結果は、優秀賞とプレゼンテーション特別賞をいただくことができました。総合探究のHIJIKAWA班を中心に、みんなで協力して準備してきたことが、とてもよい経験となりました。



一回は大洲農業高等学校からです。一